

2026 大振袖着付(ボディ)全国大会出場予選

花嫁お色直し大振袖(おはしより)着付・帯結びは相生(あいおい)とする。

通常、披露宴でのお色直しとして用いられるもの。

競技は、「ボディ修正、長襦袢着付」までの作業と「大振袖着付、帯結び」の作業に分けて行う。

長襦袢着付までの作業は監視委員会立会の下控室で行い、「大振袖着付、帯結び」の作業は競技ステージで行う。

長襦袢及び大振袖の衿とじは、事前に済ませて来るものとする。(長襦袢の衿芯は自由とし、三河芯に半衿をつけたもの、その他、特別に考案・加工されたもの可)

資格: 免許取得者

競技時間

長襦袢着付までの作業 30分・・・控室

競技前ボディ手直し 5分・・・ステージ

大振袖着付、帯結びの作業 25分・・・ステージ

競技に関する制限及び禁止事項※違反した場合は減点もしくは失格となる

[禁止事項]

1. 競技中、選手同士又は観客と会話等をしてはならない。
2. 競技中、用具の貸し借りはしてはならない。
3. 競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、監視員の指示に従わない等の行為は、退場を命じることがある。
4. 帯に形付けをしたり、帯結びの過程につながる過度のたたみ方をしておくことは認めない。(抱え帯を含む)
5. 帯や着物などに糸印をつけておくことは認めない。
6. 着物及び長襦袢のふり合わせは、とじてあってはならない。
7. 帯あげは縫ってあってはならない。
8. 極端に完成されたボディ修正用具の使用は認めない。
9. ボディ補整のパットやタオルはとじ付けてあってはならない。
10. 肌着の下のブラジャー等(和服用を含む)の使用は認めない。
11. おはしより芯の使用は認めない。
12. 袖の錘用の板紙等の使用を認めない。

13.ものさし類の使用は認めない。

14.競技終了後、選手はボディに一切触れてはならない。

15.助手の使用は一切認めない。(ただし、競技用具の搬出入のために、係員の指示に従って助手を指定した場所まで立ち入りさせることはさしつかえない。)

[制限事項]

- ① 選手の服装は、競技に相応しいものとし、上衣は衿付で白いもの(色、柄は禁止)、下は黒又は濃紺のスカート又はスラックスとする。(ミニ丈は禁止する)靴は、ヒールの低いものとする。(ブーツは不可)
- ② 帯結びの型については、立て矢系の「相生」とする。
- ③ 帯あげは、入りの字型とする。
- ④ 帯じめは、中心で結ぶこと。
- ⑤ 前身頃の衿の縫目と「おはしより」の縫目はそろえること。
- ⑥ 長襦袢及び大振袖の衿とじは、事前に済ませて来るものとする。(長襦袢の衿芯は自由とし、三河芯に半衿をつけたもの、その他、特別に考案・加工されたものも可)

[衣装持ち込みに際しての禁止事項]

大振袖

- ・ 身幅にアールをつけて胴部を絞った仕立ては認めない。
- ・ 比翼(裾)は、つけてある所から、裾ふきまで一切表布にとじてあってはならない。
- ・ 立て襟の比翼は、胴裏につけてある所から衿つけで表布にとじてあってはならない。
- ・ 芯を入れるなどの加工をしてはならない。
- ・ 袖付にあて布があってはならない。

長襦袢

- ・ 衿は白無地とする。
- ・ 上下セパレートのもの認めない。
- ・ 巡礼衿が良い。
- ・ 後衿の力布はあってはいけない。(抜き用の細ひもは可)

帯と抱え帯び

- ・ 特定のひだの折り癖が強くつけられているものは認めない。

着付小物

- ・ 肌着、裾よけ、帯枕は特別に考案・加工された特殊な型式のものは認めない。
- ・ コーリンベルトの使用は認めない。

※競技用具は、大会当日の朝、競技前に監視委員が厳重に点検を行う。

その他の注意事項

1. 帯結びに使用するひもは、腰ひも又は何重のゴム仮ひもでもよい。
2. 立矢の帯の中に芯を使用してもよい。(ただし、大振袖着付・帯結びの作業時間内(20分)で行うこと。)
3. アイロンは使用できない。
4. 控室で電源の使用は禁止する。
5. 競技終了後、選手は直ちに用具その他のものを持って退場しなければならない。
6. 審査はボディに草履を履いた状態で行う。
7. 審査中ボディのポーズは図のとおりとする。[資料図参照]
8. 競技時間内に出来上がらないもの(クリップの取り忘れ、草履を履かせてないもの等)は未完成とし、審査は行わない。

競技用具の準備 (選手が準備するもの)

(a)①大振袖(事前に衿とじを済ませたもの) ②丸帯

③長襦袢(事前に衿とじを済ませたもの。衿芯は自由とし、三河芯に半衿をつけたもの、その他、特別に考案・加工されたものも可) ④帯じめ ⑤帯あげ ⑥抱へ帯 ⑦はこせこ
⑧扇子(扇面は金、銀のもの) ⑨草履 ⑩衣装敷(紙)

⑪衣装箱(ベージュ&赤色で高さ18cm位の一般的に使用されているもの)

(b)小物付属品「足袋、肌襦袢、裾よけ又はワンピース型肌着、腰ひも、仮ひも、伊達巻(2本)、ボディ補整用具(綿花、タオル、さらし又はガーゼ類)、帯枕、帯板、クリップ」

(c)裁縫用具一式。

審査基準

通常披露宴でのお色直しとして用いられるもので、技術性、調和性を勘案した総合審査とする。

採点方法：60～100点

審査時間：20分

失格事項

- ・ 規定違反、競技時間の超過、競技終了後の修正、待機中に選手以外の者が、ボディに触れたり手直しがなされたとき。 競技終了後は所定の場所に待機していること。

選手心得

- ・ 受付時間に遅れないこと。(9時30分)
- ・ 受付にて各人の出場番号の決定を受けること。
- ・ 競技終了後は所定の場所に待機していること。
- ・ 選手は最後の表彰式まで参加すること。
- ・ 会場では、マナーに気をつけ、ゴミ等は所定の場所におさめる。

表彰

グランプリ 準グランプリ 優秀賞

グランプリの者は、全国大会出場権